



江戸小紋って
奥深いですよ!



廣瀬 雄一

1918年設立の廣瀬染工場4代目。大学卒業後に家業である江戸小紋の道へ。2006年「KOMON HIROSE」、2012年「comment?」ブランドを立ち上げ、大判ストールが国内外で評判に。学生時代にはウインドサーフィンで日本代表強化選手になったという経歴も。



廣瀬染工場
新宿区中落合4-32-5
<http://www.komonhirose.co.jp/>
※工場は一般公開していません。

MAP P.18-19 A-3

新宿区で輝く人 “シンジクニスト”

shinjukunist



vol.8

廣瀬染工場

江戸小紋職人 廣瀬 雄一

水に恵まれた 落合で 江戸小紋を極める

今

年、創業100年を迎える江戸小紋の老舗、廣瀬染工場。4代目である廣瀬雄一さんにとつて、染め物は幼少期から慣れ親しんだものでした。

「色糊を作るもち米や染料の香りが漂ってくる、今でも記憶がよみがえります。職人さんたちはちよっと怖いけど、粹で格好良くて、子ども心にとつとあこがれでした」

学生時代はウインドサーフィンの選手として活躍し、大学卒業後、祖父の薦めもあつて江戸小紋の道に進みまし

た。「熟練の職人が作る江戸小紋には、人の手でしかつくり出せない奥深さがあります。自分も極めたいと毎日全力で染め続け、あつという間に今年で18年になります」と廣瀬さんは笑います。

長板に張った白生地には、模様の一円になる型紙を乗せ、絵柄に応じて木べらで色糊を置いていく伝統の技を見せてくれた廣瀬さん。「心が乱れると呼吸や体の動きも乱れ、仕上がりに影響が出てしまいます。平日も休日も、自分を律するように意識しています」

江戸小紋をたくさんの人に知ってもらうため、2006年には江戸小紋の雑貨ブランド「KOMON HIROSE」を設立。その後、ストール専門ブランド「comment?」を立ち上げました。新宿区内の百貨店や小売店でも販売され、男女問わず人気を博しています。ブランドのプロデューサーとしての仕事もこなしながら、廣瀬さんはあくま

江戸小紋の普及と染色技術の鍛錬

でも職人としての原点にこだわります。「精緻な図柄を完璧に染め上げる。超絶技巧。を極めたい」と、ますます

すの向上に余念がありません。染め物に向き合う日々を通じて、落合エリアの豊かさにも改めて気付いたそうです。

「緑あふれる静かな環境と、豊富にわき出る井戸水のおかげで染め物に打ち込めます。落合で受け継がれてきた江戸小紋が次の100年ももつと発展するように、微力ながら力を尽くしていきたいです」

「染のまち」として知られる落合周辺では、毎年2月開催の「染の小道」をはじめとしたイベントや博物館など、江戸小紋に触れられる機会がたくさんあります。伝統の美に触れながら、のんびり散策してみたいいかがでしょうか。



「comment?」シルクストール

① 竹よろけ ② 七宝 ③ 葉っぱ